

平成30年5月30日

プレスリリース

報道各位

通常総会決議事項について

平成30年5月30日開催の第22回通常総会において下記のとおり決議されましたのでお知らせいたします。

記

第1号議案 第88期事業年度 $\left\{ \begin{array}{l} \text{自 平成 29 年 4 月 1 日} \\ \text{至 平成 30 年 3 月 31 日} \end{array} \right\}$ 業務報告書、

貸借対照表、損益計算書及び損失金処理案承認の件
原案どおり承認可決された

第2号議案 平成30年度会員加入金決定の件
会員及び1市場受託会員（1口あたり）58万円
原案どおり承認可決された

第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件
原案どおり承認可決された（別添役員名簿）

第4号議案 退任役員に対する慰労金贈呈の件
原案どおり承認可決された

以上

大阪堂島商品取引所 役員名簿

役名	氏名	所属等
理事長	おかもと やす あき 岡本安明	岡安商事(株) 代表取締役会長

役名	氏名	所属等
理事	あお やま ひで よ 青山秀世	日産証券(株) 取締役副社長
〃	あり ま せい ご 有馬誠吾	(株)コムテックス 代表取締役社長
〃	いく た はじめ 生田一	学識経験者
〃	おか ち しゅう いち 岡地修一	岡地(株) 専務取締役
〃	き かべ しん いち 日下伸一	豊商事(株) 取締役
〃	くりや ひで とし 厨秀俊	全国米穀販売事業共済協同組合 顧問
〃	き とう ひろ のり 佐藤広宣	(株)カーギルジャパン 穀物油脂本部 穀物グループ 統括部長
〃	しょう がき たつ お 正垣達雄	第一商品(株) 代表取締役社長
〃	すず き かつ お 鈴木勝夫	大阪堂島商品取引所
〃	※ にし な かず ひこ 仁科一彦	学識経験者
〃	ふじ み とく お 藤見徳男	大阪堂島商品取引所
監事	きら い とし お 櫻井敏雄	岸和田食糧(株) 代表取締役
〃	わた なべ けんいちろう 渡邊健一郎	サンワード貿易(株) 管理部マネージャー

※ 総会後、新役員による臨時理事会において、理事長選任理事として承認された者
(経歴は別紙)

理事・監事については、それぞれ氏名50音順

理事長選任理事について

今般、本所ガバナンスの強化に資するため、定款第72条第2項に規定する理事について、仁科一彦氏（大阪大学名誉教授・明治学院大学名誉教授）を選任することが、第106回臨時理事会（平成30年5月30日開催）において承認された。

○ 略歴等

にしな かずひこ
仁科 一彦（昭和21年12月2日生）

（略 歴）

東京大学大学院経済学研究科博士課程修了
大阪大学大学院経済学研究科教授、大阪大学副学長、
明治学院大学大学院経済学研究科教授等を歴任
（金融・ファイナンス論）

以上

第89期事業年度

業 務 報 告 書

〔 自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日 〕



大阪堂島商品取引所

OSAKA DOJIMA COMMODITY EXCHANGE

目 次

業 務 報 告

1. 業務の概要	1
2. 市況概況	2
3. 会議概要	
1) 総 会	8
2) 理事会等	8
4. 登記事項	8
5. 会員に関する事項	9

決 算 報 告 書

1. 貸借対照表	10
2. 損益計算書	11
3. 損失金処理	13

参 考 資 料 (統 計)

1. 商品別出来高表	14
2. 今期の概要	15
3. 会員別・売買高及び受渡高表	17

会 員 名 簿	18
---------	----

第 89 期 業 務 報 告

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

第 89 期における業務の概要及び決算について、次のとおり報告いたします。

業 務 報 告

1. 業務の概要

当期の我が国経済は、雇用環境の改善が続くなか、引き続き、安定した景気拡大基調を保持することとなり、経済の好循環が実現しつつあるものと評価されました。本所主力商品である米穀においては、産地倉庫の導入や単一銘柄の追加等、これまでにない市場設計の改善に取り組んだ結果、農林水産大臣から試験上場期間を 2 年間再延長する旨が認可されました。

このような状況のなか、本所では市場活性化に向けての諸策に取り組みましたが、当期の取引高は 314,091 枚（前期比 65.2%）となり、また、神戸シルクセンタービルの全持分の取得に係る経費 6,500 万円及び取引システムに係る発注取消し費用 2,000 万円を併せて特別損失 8,500 万円を計上したため、当期損失金は 183,661,288 円（前年度比 462%）となりました。

本所が当期において実施した事項は次のとおりです。

(1) 米穀市場の活性化に向けた取り組み

生産者や集荷業者等の幅広い参加を得るため、引き続き、新潟地区に設置した臨時相談窓口を拠点として、啓蒙・営業活動を実施するとともに、随時、セミナー及び勉強会を開催し、併せて受託会員の営業支援として、WEBSITE 及びメール発信サービスを通じた価格情報を中心とする情報提供を展開致しました。

(2) ザラバ取引システムの稼働準備

市場流動性の供給策として、板寄せ取引では困難とされていたマーケットメイカーの導入や国内外の金融市場におけるプレーヤーを含めた新たな市場参加者の市場参入に向け、受託会員のコスト負担を最大限考慮するなかで、ザラバ取引システムを導入することとし、早期稼働に向けての準備に着手致しました。

(3) 経営基盤の強化

米穀当業者等の加入による会員組織の充実をはかるとともに、継続した経費削減に取り組みつつ、財務基盤の安定に資するため、神戸シルクセンタービルの住友生命保険相互会社との共同保有契約満了に伴う全持分の取得及びビル単独運営に係る基礎的環境を整備致しました。

(4) デリバティブの普及啓蒙

商品先物取引の理解浸透に向けた教育活動と致しまして、引き続き、商品先物取引に関する大学寄附講座及び社会人に向けた特別講座を開講致しました。

以 上

2. 市況概況

[東京 コメ]

4月 期近 12,860 円、期先 12,910 円(期先期間最安値)でスタートした後、年度替わりも前月とほとんど変わらない状況の中、豊作に伴う余剰感が根強いことや現物スポット市場で気温上昇に伴う整理売りが見込まれることが先安感を強めており、4月限 12,840 円と年度最安値を示現して納会した。21日には、新甫10月限(新穀限月)は9月限と比べ40円上ザヤの12,950円で発会したが目先は現在の値位置でのもち合い商状となった。

5月 GW明けの調整主導の動きの中、高止まりする主食用米とのサヤ修正から5月限は、13,000円で納会した。翌日、現物スポット市場では売り物薄が続いていることから新甫11月限は13,150円で引け底堅さを見せた。

6月 堅調に推移する中、平成28年産米の卸間取引の平均価格は、業務用米「栃木産あさひの夢」、「千葉県産ふさおとめ」等の代表銘柄の一部が平成27年産より約2割上昇していることから、品不足による価格高騰を背景にした実需筋の買いが入り地合いは上値追いの展開となった。

7月 3日、米穀安定供給確保支援機構発表の主食用米の需給動向(現状判断)を示すDIが、66(前月差5ポイント増)・米価水準も63(前月差2ポイント増)とどちらも2ヶ月連続ポイント増と「締まる、高くなる」との見方が強まるとみる向きから、需給の引き締まりが見込まれ業務用米の先高感強く堅調に推移した。

8月 平成29年産の新米の出回る盆明けまでは小動きで推移したが、盆明けからは7月下旬からの日照不足の影響で調整主導の動きとなり、新米の出回りが本格化しはじめる下旬以降新穀限月を中心に日照不足が農作物への深刻な悪影響を与えかねない懸念が下支えとなり軒並み上昇基調となった。

9月 現物スポット市場では新米価格が高止まりしていることで先物の価格基調も強く、13日には買い優勢から10月限13,900円、11月限13,930円、12月限13,930円と一気にストップ高を付け新穀主導で値を引き締めた。

10月 農林水産省発表の平成29年産の米の作柄概況によると、東北では夏の長雨と日照不足で作柄悪化観測が根強く、主食用米の収穫量は731万トン(同2%減)の見通しとなったことから、当面は高止感が続く見通しとなった。

11月 6日、米穀安定供給確保支援機構が発表した需給見通しDIが69と5年5ヵ月ぶりの高水

準となり、米不足感が一段と引き締まるとの見通しから、期近を除く他限月は堅調な動きを見せた。21日に期先新甫5月限は14,910円で発会した後、27日には需給ひっ迫懸念を背景に14,920円(期先期間最高値)を示現した。

12月 農林水産省は5日、29年産水稻の収穫量を発表、主食用米収穫量730万6千トンと前年産より19万トン減少となったが、積極的な売買は手控えられもち合い状態での越年となった。

1月 年明け、現物スポット市場で業務用米価格を押し上げたことから、4日期近1月限14,740円(期近期間最高値)を付け、値位置を引き締める展開となった。

2月 品薄感を背景にしたしっかりした地合いが続き、動意に乏しい値動きの中、横ばいで推移した。

3月 農林水産省発表の30年産米の作付け動向は前年に続く米の需給安定に向けて好材料となる報に楽観的ムードが広がり、26日5月限が14,350円のストップ安を示現した。その後も軟調地合いが続き結局、期近14,380円、期先14,510円で年度末を終えた。

なお、受渡枚数は合計で、期日受渡しは18枚、合意早受渡しは86枚となった。

[大 阪 コ メ]

4月 期近13,340円、期先13,300円でスタートした後、前月からの地合いを引継ぎ膠着状態が続いた。11日、主食用米の需給が引き締まるとの先高期待感から新甫10月限(新穀限月)は13,300円で発会、その後ジリ高となり13,440円まで上伸した。他限月は動意なく月末を迎えた。

5月 大型連休を挟んで様子見姿勢が強く商いも手控えられたが、中旬になって、コメの市中価格の上昇を映して軒並み上伸し、その後も産地や販売業者からの売りが乏しいことも材料視され、期先限月を中心に堅調に推移した。

6月 飼料用米への転作推進により29年産も主食用米の供給が細るとの見方が強く、米穀安定供給確保支援機構発表の主食用米の需給動向(見通し判断)を示すDIが60(前月比+3)と5ヶ月連続で「締まっている」としたことや、米価水準(見通し判断)を示すDIも先行きの上昇判断を強めていることから一時上値を試す展開となり、強含みのまま月末を迎えた。

7月 需給の引き締め感が根強く、28年産の余剰在庫の処分を急ぐ動きも見られないことから底堅く推移し、中旬に起こった九州地方の記録的な豪雨が産地の作柄悪化を連想させ、期中限月を中心に値を伸ばした。30日、農水省が公表した6月末のコメ民間在庫が140万トン(前年同月比7万トン減)と低水準になったことも下支え材料となり、総じて高値圏で推移した。

8月 新米が出回り始める時期を控えて様子見姿勢が強まり、値動きの乏しい展開が続いた。長雨や日照不足によるコメの作柄悪化や収穫量の減少懸念が伝えられると、新潟コシと東京コメが急伸し、これを映して大阪コメも連れ高となり、月末まで強含みで推移した。

9月 米穀安定供給確保支援機構発表の主食用米米価水準（見通し判断）を示すDIが74（前月比+10）と急上昇したことを好感し、11日、新甫3月限は2月限より310円高い14,200円で寄りつき、13日、仮渡金や相対価格の上昇を背景に東京コメが急騰し、これに連れ高となった大阪コメも期近でストップ高を示現した。その後も断続的にストップ高となり、27日には期近10月限が15,160円まで上伸し、約4年半ぶりに15,000円台を回復した。

10月 全国の作柄概況は「平年並み」となったものの、飼料用米への転作のほか、低温、長雨による品質悪化などで主食用米の収穫量が減少しており、「需給は締まり、価格は上昇する」との見方が強まり、10日、新穀限月である10月限は受渡値段15,150円（前月比1,750円高）を示現、受渡しも8枚成立した。農水省発表の29年産初となるコメの相対取引価格も前年同期比8%高であったことから続伸、断続的にストップ高を示現した。また、9月末のコメ民間在庫が155万トン（前年同月比22万トン減）と低水準であったことから、月末には2番限以降の全限月で15,000円台を回復した。

11月 政府主導による最後の生産調整が進んで需給逼迫観測が強まり、30年産米の生産目標数量が735万トン（前年同水準）と公表されたことも相まって高値維持の見方が広がり、高値圏での小幅な値動きに終始した。

12月 師走相場に入り、割高感を背景に量販店などでの店頭需要が伸び悩んでいること等から、積極的な商いは手控えられて越年した。

1月 年明け後も持ち合い商状で始まり、12月末のコメ民間在庫が312万トン（前年同期比17万トン減）と4年連続で前年同期を下回ったことは下支え材料となったものの、減反廃止後の平成30年産の需給見通しを睨んだ様子見姿勢が根強く、動意薄の展開が続いた。

2月 15日、新潟コシが複数の限月でストップ高を付けたことを受けて、翌16日、期先8月限は15,300円（期先期間最高値）まで上伸した。

3月 当業者の買いが先行して続伸し、9日、約5年ぶりの高値となる15,490円（期間最高納会値）で納会した後は、期末を控えて薄商いとなり、期近15,230円、期先15,300円で今期を終えた。なお、受渡枚数は合計で期日受渡し8枚、合意早受渡しは18枚となった。

〔新潟 コシ〕

4月 10月限は14,320円の小幅安で始まり、6日、米穀安定供給確保支援機構が発表した主食用米の米価水準（見通し判断）を示すDIが51と横ばいであったことから、材料に乏しくまちまちな展開となった。21日、新甫4月限が14,220円で発会した後、25日には14,300円まで上昇した。月末にかけては高値警戒感から期先限月中心に軟調に推移し、期近13,800円、期先14,140円（一代安値）で4月を終えた。

5月 大型連休を挟んで10月限以降が軒並み上昇した。8日、米穀安定供給確保支援機構が発表した主食用米の需給動向（見通し判断）を示すDIが57（前月比+2）と4ヶ月連続で上昇し、需給が締まるとの見方が強まったことから堅調地合いが続き、17日には旧穀限月の6月限、8月限が約2ヶ月ぶりに14,000円台を回復した。その後、10月限以降は一時値を下げたものの、その後はまちまちな値動きをしながらも堅調に推移した。

6月 月初、期近6月限は180円高でスタートした後、5日、米穀安定供給確保支援機構が発表した主食用米の需給動向（見通し判断）を示すDIが60（前月比+3）と5ヶ月連続で上昇し、前月同様需給が締まるとの見方が強まったことや、主食用米の米価水準の見通し判断も57（前月比+5）と上昇したことを受け、先高感から堅調に推移した。20日、新潟コシの初納会を迎えたが、納会値段は前日と変わらず14,350円の平穏納会となり、受渡枚数は129枚であった。21日、新甫6月限は14,560円で発会し、その後も期近8月限以降は堅調に推移し、月間出来高は23,312枚（期間最高）となった。

7月 前月からの地合いを引継ぎ堅調に推移し、コメの不足感が強まっている中、米穀安定供給確保支援機構が発表した主食用米の需給動向（見通し判断）を示すDIが63と6ヶ月連続で上昇することとなり、現状判断も66（前月比+5）と上昇した。こんな中、九州地方の記録的な豪雨が作柄悪化を連想させ買い優勢となり、11日には12月限がストップ高をつけるなど軒並み上伸し、約6ヶ月ぶりに15,000円台を回復させた。12日、期近8月限が14,710円（一代高値）を示現するなど、その後、期中期先限月を中心に値位置を切り上げている中、下旬に発生した秋田、新潟の記録的な大雨が水田を冠水させたことで新米の生育遅れが懸念され月末にかけて更に値を飛ばし強含みで推移した。

8月 新米の出回りが本格化する時期を控えて様子見姿勢が根強い中、想定外の天候不順に見舞われたことで作柄悪化や収穫量の減少懸念が台頭し、高安まちまちな値動きとなった。18日、納会値段14,690円の平穏納会となり、受渡枚数は44枚であった。月末にかけては先高期待感から期中期先限月を中心に買いが優勢となり、全限月で15,000円台を回復した。

9月 農水省発表の作柄概況は全国的に「平年並み」「やや良」であったが、仮渡し金（概算金）が前年に比べて高いことや、政府主導による飼料用米への転換政策を見た買いが下支え材料となって全限月で続伸し、期近10月限を除く5限月で一代の高値を更新する等、一時上値を試す展開となった。

10月 農水省発表の9月末の民間在庫が155万トン（前年同月比22万トン減）と低水準であったことを受けて続伸し、20日、新穀限月である10月限の受渡し高が、8月限（旧穀限月）より660円高い15,350円で納会し、受渡枚数は244枚（期間最高）となった。その後、下旬にかけて大阪コメが断続的にストップ高となるなど急伸し、これに連れ高となった新潟コシも前月に引き続いて5限月で一代の高値を更新する等、底堅い相場展開となった。

11月 平成29年産の新米が出揃って作況指数も材料としてはほぼ消化されたが、農水省が10月末に公表した新潟の作況指数が「やや不良」の96（前回は97）に下方修正され、一方で減反廃止後の平成30年産の需給見通しを睨んだ様子見姿勢も根強いこと等から、相場は強弱両材料の引き合いとなって、値位置を探る展開となった。

12月 師走相場に入り、量販店での販売が低調なことから上旬は小幅な値動きに終始した。20日、納会値段15,800円の平穏納会となり、受渡枚数は63枚であった。新潟こしいぶきの相対価格が14,800円に上方修正されたことを受け、新潟コシの相対価格引き上げを見込んだ買いが先行する形で月末にかけて再び買い優勢となり、26日、4月限は16,210円まで買い進まれて、越年した。

1月 年明け後も需給逼迫を背景に供給懸念が台頭してスポット市場は高止まっておろ、店頭での売れ行きが伸び悩む等、先行き不透明感から手控え姿勢を強め、小幅な値動きに終始した。11日、米穀安定供給確保支援機構が発表した主食用米の需給動向（見通し判断）を示すDIが68と前月から2ポイント増となり、この5年間で見ると昨年10月の69に次ぐ高水準となり、需給が引き締まるとの見方が強いが、旧穀限月は、ほぼ横ばい傾向で推移し、新穀限月である10月限、12月限もがまちまちな動きのまま1月を終えた。

2月 月初、様子見姿勢が継続して横ばいでスタートした。5日発表の米穀安定供給確保支援機構の主食用米の需給動向（現状判断）を示すDIは72で前月から1ポイント低下したが、4ヶ月連続で70を上回り強い引き締め感維持している。その影響もあってか5日に2月限がストップ高まで急伸した。翌日も2月限が290円高とストップ高手前の高値をつけた。その後農水省発表によれば作況指数は100で平年並みだったが、品薄感が拭えず、中旬以降も4月限、6月限がストップ高をつけるなど軒並み高値をつけた。20日、当限納会は前日比変わらずの16,620円と一代高値の納会となった。受渡枚数は43枚であった。その後も新穀限月を中心に堅調に推移し、27日、4月限が16,910円と上場来最高値をつけた。

3月 農水省が発表した18年産主食用米の作付け動向は、前年とほぼ同面積の作付けが見込まれるとのことであり、6月の在庫数量も180万トン程度が見込まれるとしたことから、30年産の価格も高値水準で推移するとの思惑が強かったが、新潟コシの値動きは持ち合い状態が続き、期近16,500円、期先15,750円で今期を終えた。

なお、受渡枚数は合計で期日受渡し523枚、合意早受渡し176枚となった。

[小豆]

期初、期近12,390円、期先12,390円で発会した後、人気離散から期末3月まで値付けバイカイに終始し、受渡しもなく、全限月12,390円で年度を終えた。

[とうもろこし]

期近28,250円、期先24,000円で発会した後、人気離散から期末3月まで値付けバイカイに終始し、受渡しもなく、期近22,000円、期先22,000円で年度を終えた。

[米 国 産 大 豆]

期初、期近39,510円、期先51,000円で発会した後、人気離散から期末3月まで値付けバイカイに終始し、受渡しもなく、期近47,000円、期先48,000円で年度を終えた。

[粗糖]

期初、期近42,110円、期先42,110円で発会した後、人気離散から期末3月まで値付けバイカイに終始し、受渡しもなく、全限月42,110円で年度を終えた。

[冷 凍 え び]

期初、期近1,181円、期先1,181円で発会した後、人気離散から期末3月まで値付けバイカイに終始し、受渡しもなく、全限月1,181円で年度を終えた。

[コーン75指数]

期近、期先169.6ポイントで発会した後、人気離散から期末3月まで値付けバイカイに終始した。春から夏の天候相場期にかけ米国大豆及びとうもろこしが過去最高水準の豊作であったことを受けて国内外の原市場が軟調に推移、8月末、シカゴ原市場相場が急落し年度最安値を更新したことから、9月の最終決済値（納会）は145.7ポイントの期間最安数値となった。その後は、手掛かり難から動意なく推移し、3月、期近3月限が最終決済値160.0ポイントで納会して、今期を終えた。

3. 会議概要

(1) 総会

下記のとおり各議案について原案どおり承認可決された。

第 21 回通常総会（平成 29 年 5 月 30 日）

1. 第 88 期事業年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）業務報告書、貸借対照表、損益計算書及び損失金処理案承認の件
2. 平成 29 年度会員加入金決定（案）の件
3. 役員の新補充選任（案）の件

第 47 回臨時総会（平成 29 年 7 月 11 日）

1. 定款一部変更（案）の件

第 48 回臨時総会（平成 29 年 8 月 4 日）

1. 定款一部変更（案）の件

第 49 回臨時総会（平成 30 年 3 月 29 日）

1. 平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）の件
2. 平成 30 年度会費の賦課及び徴収方法（案）の件

(2) 理事会等

今期中の理事会、監事会及び常設委員会等の開催数は次のとおりで、それぞれ担当事項について審議した。

1. 定例理事会	12 回（うち書面審議 2 回）
2. 臨時理事会	16 回（うち書面審議 14 回）
3. 監事会	2 回
4. 諮問委員会	
米穀取引運営委員会	8 回（書面審議）
5. 市場取引監視委員会	3 回（うち書面審議 1 回）
6. その他の委員会等	
コメ試験上場検証特別委員会	6 回

4. 登記事項

平成 29 年 6 月 6 日

出資金変更 1 億 3,160 万円（平成 29 年 3 月 31 日現在）

平成 29 年 8 月 10 日

目的等の変更 米穀の試験上場期間を 6 年から 8 年に変更

5. 会員に関する事項

(1) 一般会員の異動

区 分	平成29年3月末現在	加 入	脱 退	持分譲渡・譲受	平成30年3月末現在
農産物市場	40	5	0	—	45
農産物・ 飼料指数市場	10	0	1	—	9
水産物市場	8	0	0	—	8
砂糖市場	8	0	0	—	8
実 数	51	5	1	—	56

注) ()は会員、受託会員間の異動数

(2) 受託会員の異動

区 分	平成29年3月末現在	許 可	廃 止	持分譲渡・譲受	平成30年3月末現在
農産物市場	11	0	1	—	10
農産物・ 飼料指数市場	7	0	0	—	7
水産物市場	7	0	0	—	7
砂糖市場	6	0	0	—	6
実 数	11	0	1	—	10

注) ()は会員、受託会員間の異動数

(3) 受託会員の従たる営業所の異動

区 分	平成29年3月末現在	新 設	廃 止	平成30年3月末現在
農産物市場	43	1	6	38
農産物・ 飼料指数市場	35	1	0	36
水産物市場	35	1	0	36
砂糖市場	31	1	0	32
実 数	43	1	6	38

(注)

1. 会員加入

- 29.6.23 公益社団法人日本べんとう振興協会（農産物市場）
- 29.6.27 サクセス・コンサルティング㈱（農産物市場）
- 29.6.28 ㈱フジオフードシステム（農産物市場）
- 29.6.29 ㈱健康プラザパル（農産物市場）
- 29.7.6 ㈱田島屋（農産物市場）

2. 持分譲受による会員加入 29.10.1 ㈱神明（農産物市場）

3. 持分譲渡による会員脱退 29.10.1 ㈱神明アグリ（農産物市場）

4. 会員脱退 29.11.6 EVOLUTION JAPAN㈱（農産物市場）

5. 一部市場会員脱退 29.5.24 石栄㈱（農産物・飼料指数市場）

6. 商号変更 30.1.1 ㈱インターヘルスケア（旧 ㈱健康プラザパル）

決 算 報 告 書

1. 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	<u>319,196,359</u>	流動負債	<u>252,371,711</u>
現金及び預金	253,144,962	仮受金	1,580,341
未収金	48,245,443	預り金	194,304,376
前払費用	562,454	納税引当金	11,144,027
仮払金	17,243,500	未払金	20,540,953
固定資産	<u>1,853,214,392</u>	前受収益	24,802,014
有形固定資産	<u>1,216,366,428</u>	固定負債	<u>1,040,021,611</u>
土地	319,729,204	信託借入金	675,000,000
建物	759,855,793	信認金	99,200,000
設備	121,007,785	建物特別引当金	139,821,611
什器備品	13,230,973	加入調整金	126,000,000
システム設備	2,542,673	負債の部合計	1,292,393,322
無形固定資産	<u>8,996,795</u>	純資産の部	
ソフトウェア	8,996,795	会員出資金	<u>132,000,000</u>
投資その他の資産	<u>627,851,169</u>	会員加入金	<u>467,463,822</u>
所有有価証券	381,509,508	法定準備金	<u>1,237,913</u>
預け金	22,534,000	損失てん補準備金	1,237,913
所員貸付金	12,095,000	利益剰余金	<u>279,315,694</u>
信託預け金	211,712,661	別途積立金	5,418,294
		特別担保積立金	457,000,000
		繰越利益剰余金	△ 183,102,600
		(内当期利益)	(△183,661,288)
		純資産合計	880,017,429
資産の部合計	2,172,410,751	負債・純資産の部合計	2,172,410,751

2. 損益計算書

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
役員諸給与	83,697,470	定額会費	2,395,000
福利厚生費	16,723,994	定率会費	21,010,710
支払手数料	3,207,375	受渡手数料	165,800
事務費	2,346,422	システム利用料	32,726,600
運営費	34,830,617	情報提供料	7,961,040
諸会費	429,035	賃貸収入	124,944,807
諸税公課	28,886,254	附帯収入	48,077,777
賃借料	9,729,272	地代収入	26,778,151
建物管理費	27,225,884	収入利子	3,410,202
修繕費	3,238,940	雑収入	8,031,636
寄付金	986,000	建物特別引当金戻入	7,908,080
先物システム料	81,079,506		
広報戦略費	18,377,290		
減価償却費	55,708,452		
雑費	556,633		
役員退職金	15,139,489		
特別損失	84,908,458		
計	467,071,091	計	283,409,803
		当期損失金	183,661,288
合計	467,071,091	合計	467,071,091

以上のとおりであります。

平成30年5月

大阪堂島商品取引所

理事長	岡本安明
理事	鈴木勝夫
理事	藤見徳男
理事	落岩邦俊
理事	岡地修一
理事	生田一
理事	佐藤広宣
理事	有馬誠吾
理事	青山秀世
理事	石原一郎
理事	日下伸一

上記の事項を監査の結果、正確適法であることを確認します。

平成30年5月

監事	櫻井敏雄
監事	渡邊健一郎

3. 損失金处理

(单位：円)

I 当期未处理損失金		<u>183,102,600</u>
前期繰越利益	558,688	
当期損失金	183,661,288	
II 次期繰越損失金		<u>183,102,600</u>

参 考 資 料 （ 統 計 ）

1. 商品別出来高表

銘柄 月別	東京コメ	大阪コメ	新潟コシ	小豆	とうもろこし	米国産大豆
平成29年4月	12,004 (+2,749)	7,407 (-9,210)	13,881 (+13,881)	358 (±0)	1,677 (-240)	239 (±0)
5月	10,987 (-7,858)	5,062 (-17,316)	12,078 (+12,078)	455 (+19)	1,690 (+94)	240 (+12)
6月	23,488 (-7,322)	8,844 (-16,381)	23,312 (+23,312)	394 (±0)	1,977 (+132)	263 (±0)
7月	12,664 (-21,252)	6,470 (-13,953)	17,781 (+17,781)	358 (±0)	1,788 (+108)	240 (±0)
8月	4,432 (-27,126)	4,646 (-17,431)	13,200 (+13,200)	394 (±0)	1,977 (+132)	263 (±0)
9月	2,413 (-23,039)	2,211 (-14,249)	6,580 (+6,580)	456 (+2)	1,788 (+108)	240 (±0)
10月	2,034 (-6,255)	1,933 (-7,829)	5,862 (-979)	376 (+18)	1,887 (+208)	251 (+12)
11月	2,135 (-6,489)	1,785 (-5,528)	5,039 (-8,454)	358 (±0)	1,790 (+110)	240 (±0)
12月	1,911 (-7,475)	2,012 (-5,548)	6,088 (-8,849)	364 (±0)	1,863 (+143)	245 (±0)
平成30年1月	3,084 (-4,821)	3,241 (-3,379)	9,023 (-4,485)	426 (+2)	1,690 (+136)	222 (±0)
2月	4,291 (-2,734)	4,287 (-2,554)	12,606 (-1,341)	340 (-26)	1,707 (+30)	227 (-12)
3月	4,753 (-2,512)	4,791 (-2,204)	13,701 (-1,464)	376 (-18)	1,884 (-36)	252 (-12)
合計	84,196 (-114,134)	52,689 (-115,582)	139,151 (+61,260)	4,655 (-3)	21,718 (+997)	2,922 (±0)

銘柄 月別	粗糖	冷凍えび	コーン75指数	合計	1日平均	立会日数
平成29年4月	240 (±0)	239 (±0)	240 (±0)	36,285 (+7,180)	1,814 (+359)	20 (±0)
5月	239 (+12)	239 (+12)	239 (+12)	31,229 (-12,935)	1,561 (-763)	20 (+1)
6月	264 (±0)	263 (±0)	264 (±0)	59,069 (-259)	2,685 (-12)	22 (±0)
7月	239 (±0)	239 (±0)	239 (±0)	40,018 (-17,316)	2,001 (-866)	20 (±0)
8月	264 (±0)	263 (±0)	264 (±0)	25,703 (-31,225)	1,168 (-1,420)	22 (±0)
9月	239 (±0)	239 (±0)	239 (±0)	14,405 (-30,598)	720 (-1,530)	20 (±0)
10月	252 (+12)	251 (+12)	252 (+12)	13,098 (-14,789)	624 (-770)	21 (+1)
11月	239 (±0)	239 (±0)	239 (±0)	12,064 (-20,361)	603 (-1,018)	20 (±0)
12月	246 (±0)	245 (±0)	246 (±0)	13,220 (-21,729)	630 (-1,034)	21 (±0)
平成30年1月	221 (±0)	221 (±0)	221 (±0)	18,349 (-12,547)	966 (-660)	19 (±0)
2月	228 (-12)	227 (-12)	228 (-12)	24,141 (-6,673)	1,271 (-270)	19 (-1)
3月	251 (-12)	251 (-12)	251 (-12)	26,510 (-6,210)	1,262 (-225)	21 (-1)
合計	2,922 (±0)	2,916 (±0)	2,922 (±0)	314,091 (-167,462)	1,282 (-684)	245 (±0)

今期の1日最高出来高 (平成29年6月28日)	4,589枚 (-319)	開所来の1日最高出来高 (平成14年6月17日)	218,101枚
今期の1日最低出来高 (平成30年1月4日)	450枚 (-265)	開所来の1日最低出来高 (昭和27年10月13日)	23枚

注)1. 開所来の1日最低出来高については、旧大阪穀物取引所のもの。

2. ()内の数字については、前年との比較。

2. 今期

銘柄	区分 比較	最高値段	最低値段	加重平均	一日最高出来高	一日最低出来高	出来高合計	総約定代金
		円	円	円	枚	枚	枚	円
東京 コメ	今期中	(29.11.27) 14,920	(29.4.3) 12,840	13,585	(29.6.29) 1,996	(29.12.29) 62	84,196	228,765,684,000
	前期との比較	+ 1,720	+ 1,220	+ 1,168	- 1,032	- 150	- 114,134	- 263,755,982,000
大阪 コメ	今期中	(29.11.22) 15,500	(29.4.3) 13,300	14,136	(29.7.11) 814	(29.12.29) 62	52,689	37,240,635,000
	前期との比較	+ 1,970	+ 1,190	+ 1,141	- 1,724	- 132	- 115,582	- 72,097,624,500
新潟 コシ	今期中	(30.2.27) 16,910	(29.4.3) 13,750	14,987	(29.6.28) 1,775	(29.12.20) 215	139,151	52,136,052,500
	前期との比較	+ 1,260	+ 50	+ 257	- 427	- 317	+ 61,260	+ 23,452,826,250
小 豆	今期中	(29.4.3) 12,390	(29.4.3) 12,390	12,390	(29.9.1) 116	(29.12.29) 6	4,655	2,307,018,000
	前期との比較	± 0	± 0	± 0	+ 2	± 0	- 3	- 1,486,800
とうもろ こし	今期中	(29.4.3) 28,250	(29.9.1) 21,000	23,247	(29.5.22) 94	(29.12.29) 72	21,718	25,243,537,500
	前期との比較	± 0	- 3,000	- 4,868	- 50	+ 30	+ 997	- 3,884,625,000
米 国産大豆	今期中	(29.4.3) 51,000	(29.4.3) 39,510	45,274	(29.4.3) 12	(29.12.29) 6	2,922	1,322,894,100
	前期との比較	± 0	± 0	+ 5,567	± 0	± 0	± 0	+ 162,666,900
粗 糖	今期中	(29.4.3) 42,110	(29.4.3) 42,110	42,110	(29.4.3) 12	(29.12.29) 6	2,922	1,230,454,200
	前期との比較	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0
冷 凍 え び	今期中	(29.4.3) 1,181	(29.4.3) 1,181	1,181	(29.4.3) 12	(29.12.29) 6	2,916	206,627,760
	前期との比較	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0
コ ー ン 7 5 指 数	今期中	(29.4.3) 169.6	(29.9.8) 145.7	169.6	(29.4.3) 12	(29.12.29) 6	2,922	4,954,844,000
	前期との比較	± 0.0	+ 16.7	± 0.0	± 0	± 0	± 0	+ 408,000
合 計	今期中				(29.6.28) 4,589	(30.1.4) 450	314,091	353,407,747,060
	前期との比較				- 319	- 265	- 167,462	- 316,123,817,150

の 概 要

第89期

受渡高合計	内 合意早受渡し	立会日数	一日平均出来高	最高取組高	最低取組高	一日平均取組高	期末(3月末日) の取組残高
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
104	86	245	344	(29.5.19) 5,775	(30.3.26) 2,281	3,538	2,281
- 7	+ 23	± 0	- 466	- 4,707	- 253	- 2,759	- 1,324
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
26	18	245	215	(29.4.20) 5,601	(30.1.10) 2,250	3,392	2,250
- 158	- 36	± 0	- 472	- 4,401	- 1,554	- 3,050	- 1,604
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
699	176	245	568	(29.5.19) 5,145	(29.12.20) 1,614	3,108	1,928
+ 699	+ 176	+ 136	- 147	+ 390	+ 303	- 294	- 1,407
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	-	245	19	(29.4.3) 50	(29.4.3) 50	50	50
± 0	-	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	-	245	89	(29.4.3) 50	(29.4.3) 50	50	50
± 0	-	± 0	+ 4	± 0	± 0	± 0	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	-	245	12	(29.4.3) 0	(29.4.3) 0	0	0
± 0	-	± 0	± 0	± 0	± 0	-	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	-	245	12	(29.4.3) 0	(29.4.3) 0	0	0
± 0	-	± 0	± 0	± 0	± 0	-	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	-	245	12	(29.4.3) 0	(29.4.3) 0	0	0
± 0	-	± 0	± 0	± 0	± 0	-	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
829	280	245	1,282	(29.5.19) 16,376	(30.3.2) 6,460	10,137	6,559
+ 534	+ 163	± 0	- 684	- 3,313	- 793	- 4,216	- 4,335

3. 会員別・売買高及び受渡高表

○ 受託会員 △ 一般会員

(単位:枚)

順位	市場				会員名	合 計								
						売 買 高				受 渡 高				
	農	砂	水	指		農産物市場	砂糖市場	水産物市場	農産物・飼料 指数市場	計	農産物	砂糖	水産物	計
1	○	○	○	○	岡 安 商 事 (株)	228,580				228,580	1,252			1,252
2	○		○	○	株 コム テ ッ ク ス	103,600				103,600				
3	○				日 産 証 券 (株)	40,360				40,360				
4	○	○	○	○	岡 地 (株)	28,227				28,227	31			31
5	○	○	○	○	第 一 商 品 (株)	78,108				78,108	2			2
6	○	○	○	○	ア ル フ ィ ッ ク ス (株)	33,800				33,800				
7	○	○	○	○	豊 商 事 (株)	22,887				22,887	372			372
8	△	△	△	△	大 阪 堂 島 商 取 代 行 (株)	60,500	5,844	5,832	5,844	78,020				
9	○				サ ン ワ ー ド 貿 易 (株)	11,600				11,600				
10	○	○	○	○	岡 藤 商 事 (株)	3,000				3,000				
11	○				EVOLUTION JAPAN (株)	0				0	1			1
合 計						610,662	5,844	5,832	5,844	628,182	1,658			1,658

※EVOLUTION JAPAN(株)は、平成29年11月6日に受託業務廃止及び会員脱退

会 員 名 簿

大阪堂島商品取引所会員名簿 List of Members

(受託会員 Futures Commission Merchants)

○・・・受託会員(Futures Commission Merchants)、△・・・一般会員(General Members)

農産物(Agricultural Market)、指数(Agricultural Products and Feed Index Market)、水産物(Fisheries Market)、砂糖(Sugar Market)

2018年3月31日現在(10社)

受託会員 Futures Commission Merchants	代表者 Representative 本所に対する代表者 Representative for ODE	所在地 Address	TEL	FAX	市場 Market			
					農 産 物	指 数	水 産 物	砂 糖
株式会社アルフィックス ALPHIX Co., Ltd.	代表取締役社長 藪本 浩	532-0011 大阪市淀川区西中島 1丁目15番2号	(06)6304-5071	(06)6304-6196	○	○	○	○
岡地株式会社 OKACHI & CO., LTD.	代表取締役社長 岡地 和道 専務取締役 岡地 修一	460-0008 名古屋市中区栄3丁目 7番29号 大阪支店 541-0056 大阪市中央区久太郎町 4丁目2番15号	(052)261-3311 (06)6282-3911	(052)243-6745 (06)6244-1362	○	○	○	○
岡藤商事株式会社 OKATO SHOJI CO., LTD.	代表取締役社長 杉本 卓士	104-0033 東京都中央区新川2丁目 12番16号	(03)3553-0711	(03)5566-7797	○	○	○	○
岡安商事株式会社 OKAYASU SHOJI CO., LTD.	代表取締役会長 岡本 安明 取締役最高顧問 岡本 昭	541-0041 大阪市中央区北浜2丁目 3番8号	(06)6222-0001	(06)6203-7700	○	○	○	○
株式会社コムテックス COMTEX LTD.	代表取締役社長 有馬 誠吾 代表取締役相談役 桜井 明	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	(06)6543-2118	(06)6543-8629	○	○	○	
サンワード貿易株式会社 SUNWARD TRADING INC.	代表取締役社長 依田 年晃	162-0822 東京都新宿区下宮比町3番2号 飯田橋スクエアビル 大阪支店 530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目 4番16号 アカ堂島NBF7-西棟14F	(03)3260-0211 (06)6345-8011	(03)3266-9082 (06)6345-8255	○			
第一商品株式会社 DAIICHI COMMODITIES CO., LTD.	代表取締役社長 正垣 達雄 取締役副会長 落岩 邦俊	150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル 大阪支店 541-0056 大阪市中央区久太郎町 3丁目5番13号 又一ビル	(03)3462-8011 (06)6282-9411	(03)3476-0819 (06)6282-9435	○	○	○	○
日産証券株式会社 Nissan Securities Co., Ltd.	代表取締役会長 二家 勝明	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目38番11号	(03)5623-0023	(03)5623-4388	○			
北辰物産株式会社 HOXSIN BUSSAN Co., Ltd.	代表取締役社長 鋸持 宏昭	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1丁目9番2号	(03)3668-8111	(03)3668-8118	○			
豊商事株式会社 YUTAKA SHOJI CO., LTD.	代表取締役社長 安成 政文 代表取締役会長 多々良 實夫	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目16番12号 大阪支店 541-0056 大阪市中央区久太郎町 2丁目5番28号	(03)3667-5211 (06)6245-8000	(03)3667-8219 (06)6245-9367	○	○	○	○

(一般会員 General Members)

△…一般会員(General Members)

農産物(Agricultural Market)、砂糖(Sugar Market)、水産物(Fisheries Market)、指数(Agricultural Products and Feed Index Market)

(56社)

一般会員 General Members	代表者 Representative 本所に対する代表者 Representative for ODE	所在地 Address	TEL	FAX	市場 Market			
					農 産 物	指 数	水 産 物	砂 糖
株式会社アステム	代表取締役会長 阿竹康之 代表取締役社長 北川具宏	540-6591 大阪市中央区大手前1丁目 7番31号 OMMビル8F 私書箱59号	(06)4790-3401	(06)4790-3411	△	△	△	
株式会社イクタツ	代表取締役 榎本隆治	132-0025 東京都江戸川区松江 3丁目16番6号	(03)3651-5040	(03)5607-1919	△			
伊丹産業株式会社	代表取締役社長 北嶋一郎	664-0851 兵庫県伊丹市中央5丁目 5番10号	(072)783-0001	(072)778-7070	△			
株式会社インタートレードヘルスケア	代表取締役 内藤敏裕	104-0033 東京都中央区新川1丁目 17番21号 茅場町ファーストビル3F	(03)4540-3140	(03)4540-3141	△			
上中米穀店	上中勝弘	599-8273 大阪府堺市中区深井清水町 3718	(072)277-6363		△			
SWAトレーディング株式会社	代表取締役 太田浩之	162-0822 東京都新宿区下宮比町 3番2号 飯田橋スクエアビル	(03)5261-7926	(03)3266-9082	△			
株式会社エム・エフ・ジイ	代表取締役 増田太	591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町 6丁816番地	(072)252-0183	(072)252-1992	△			
大阪堂島商取代行株式会社	代表取締役社長 岡本安明	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	(06)6531-7934	(06)6541-9343	△	△	△	△
大西商事株式会社	代表取締役会長 内富健太郎	750-0006 山口県下関市南部町22番14号 大阪支店 550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	(083)231-5155 (06)6533-1861	(083)222-5164 (06)6533-1865	△			△
岡和雄	岡和雄	553-0001 大阪市福島区海老江4丁目 3番1号	(06)6451-1570	(06)6451-1570	△			
乙部米穀株式会社	代表取締役 松葉忠良	541-0055 大阪市中央区船場中央3丁目 2番8号B156東	(06)4704-0290	(06)4704-0293	△			
株式会社 OTC	代表取締役 藤田誠吾	650-0034 神戸市中央区京町67番地 KANJUビル	(078)391-8901	(078)331-0445	△			

一 般 会 員 General Members	代 表 者 Representative 本所に対する代表者 Representative for ODE	所 在 地 Address	T E L	F A X	市 場 Market			
					農 産 物	指 数	水 産 物	砂 糖
株式会社カーギルジャパン	代表取締役 佐々木 弘 人	100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目 1番1号 国際ビル4F	(03)3285-0800	(03)3211-8934	△			
株式会社かね善	代表取締役 岡 田 善 史	537-0013 大阪市東成区大今里南 1丁目1番26号	(06)6975-4141	(06)6975-4001	△			
カネツ商事株式会社	代表取締役社長 塩 飽 誠	103-0005 東京都中央区日本橋久松町 12番8号 日本橋久松町東誠ビル 関西支店 540-0031 大阪市中央区北浜東1番7号	(03)3662-0111 (06)6942-8686	(03)3662-3057 (06)6942-8735		△		
株式会社カネマス商店	代表取締役 平 野 太 一	577-0843 東大阪市荒川2丁目5番5号	(06)6727-1141	(06)6722-3751	△			
岸和田食糧株式会社	代表取締役 櫻 井 敏 雄	596-0052 岸和田市並松町9番2号	(072)423-4367	(072)423-4367	△			
木徳神糧株式会社	代表取締役社長 平 山 惇	101-0052 東京都千代田区神田小川町 2丁目8番 木徳神糧小川町ビル	(03)3233-5121	(03)3233-5131	△			
近畿食糧株式会社	代表取締役 水 井 時 也	635-0082 奈良県大和高田市本郷町 11番14号	(0745)52-3484	(0745)53-6066				△
株式会社クリスタルライス	代表取締役社長 小 野 茂	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	(03)4334-2175	(03)4334-2178	△			
KOYO証券株式会社	代表取締役社長 鐘ヶ江 輝 彦 代表取締役副会長 村 上 久 広	103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目 13番2号 光陽東日本橋ビル 大阪支店 530-0005 大阪市北区中之島3丁目 2番18号 住友中之島ビル4F	(03)5825-3731 (06)6441-3500	(03)5825-6388 (06)6441-4170		△		
株式会社 米 安	取締役社長 浅 野 昌 義	660-0871 兵庫県尼崎市建家町40番地	(06)6411-6071	(06)6411-4758	△	△		
サクセス・コンサルティング株式会社	代表取締役 鶴 篤 志	101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2丁目1番34号	(03)6367-2611	(06)6367-2610	△			
株式会社四宮商店	代表取締役 四 宮 太 一	652-0816 神戸市兵庫区永沢町 3丁目1番11号	(078)512-1161	(078)512-1167	△			
柴田米穀店	柴 田 富 吉	599-8241 大阪府堺市中区福田 1034-6	(072)236-1457	(072)236-1461	△			

一 般 会 員 General Members	代 表 者 Representative 本所に対する代表者 Representative for ODE	所 在 地 Address	T E L	F A X	市 場 Market			
					農 産 物	指 数	水 産 物	砂 糖
株式会社神明	代表取締役社長 藤尾 益雄	650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通 6丁目1番21号	(078)371-2131	(078)371-1238	△			
杉原産業株式会社	代表取締役社長 杉原 由高 取締役会長 杉原 康夫	658-0033 神戸市東灘区向洋町西 6丁目7番地	(078)846-3003	(078)846-3006	△	△		
石栄株式会社	代表取締役 大石 敏郎	542-0081 大阪市中央区南船場 2丁目5番24号	(06)6261-8250	(06)6261-5300	△			
全国米穀販売事業共済協同組合	理事長 木村 良	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	(03)4334-2100	(03)4334-2107	△			
千田みずほ株式会社	代表取締役 千田 法久	240-0064 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 峰岡町1丁目21番地	(045)335-2613	(045)331-5245	△			
大日本明治製糖株式会社	代表取締役社長 井崎 俊彦	103-0027 東京都中央区日本橋1丁目 5番3号 日本橋西川ビル 関西営業所 530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番 3-600号 大阪駅前第3ビル	(03)3271-0101 (06)6442-3366	(03)3281-0339 (06)6442-3377				△
大和雑穀株式会社	代表取締役社長 泉 剛史 代表取締役常務 泉 信吾	080-2463 北海道帯広市西二十三条北 1丁目3番9号 大阪支店 536-0023 大阪市城東区東中浜 7丁目8番28号	(0155)37-4331 (06)6961-3731	(0155)37-4337 (06)6961-3174		△	△	
高鍋商事株式会社	代表取締役会長 高鍋 弘	553-0006 大阪市福島区吉野 2丁目8番4号	(06)6451-7616	(06)6451-7319	△	△		
株式会社田島屋	代表取締役社長 田嶋 光夫	300-0811 茨城県土浦市上高津717番地	(029)822-0001	(029)823-8108	△			
津田物産株式会社	代表取締役社長 奥 吉治	538-0044 大阪市鶴見区放出東 3丁目7番3号	(06)6961-5751	(06)6968-0079	△			
中井産業株式会社	代表取締役 中井 敏博	543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 2番14号	(06)6771-2212	(06)6779-4019	△	△		
日本コメ市場株式会社	代表取締役社長 藤尾 益也	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	(03)4334-2170	(03)4334-2177	△			
日本甜菜製糖株式会社	代表取締役会長 小笠原 昭男 取締役社長 中村 憲治	108-0073 東京都港区三田3丁目 12番14号 ニッテン三田ビル	(03)6414-5533	(03)6414-3984				△

一 般 会 員 General Members	代 表 者 Representative 本所に対する代表者 Representative for ODE	所 在 地 Address	T E L	F A X	市 場 Market			
					農 産 物	指 数	水 産 物	砂 糖
公益社団法人日本べんとう振興協会	代表理事・会長 石 原 葵	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	(03)5643-5611	(03)5643-5612	△			
日本ユニコム株式会社	代表取締役社長 青 山 秀 世	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目38番11号	(03)5623-5111	(03)3669-6300	△	△	△	△
株式会社平尾食糧	代表取締役 平 尾 仁 彦	543-0052 大阪市天王寺区大道2丁目 11番17号	(06)6771-1565	(06)6771-0868	△			
株式会社フジオフードシステム	代表取締役社長 藤 尾 政 弘	530-0046 大阪市北区菅原町2番16号 FUJIO BLDG.	(06)6360-0301	(06)6360-0305	△			
平和農産株式会社	代表取締役社長 角 田 光 隆	650-0023 神戸市中央区栄町通1丁目 1番8号	(078)331-5556	(078)331-6331	△			
株式会社増田商店	代表取締役社長 増 田 重 樹	652-0833 神戸市兵庫区島上町 2丁目1番26号	(078)681-5681	(078)651-5079	△			
三井製糖株式会社	代表取締役社長 雑 賀 大 介	103-8423 東京都中央区日本橋箱崎町 36番2号 Daiwaリハーゲート12F 大阪支社 542-0081 大阪市中央区南船場2丁目 8番7号 三井製糖ビル	(03)3663-3112 (06)6261-5634	(03)3664-6778 (06)6264-1926				△
湊商事株式会社	取締役 湊 喜 弘	650-0035 神戸市中央区浪花町59番地 神戸朝日ビル 大阪支店 552-0013 大阪市港区福崎1丁目 3番17号	(078)321-3701 (06)6572-8455	(078)331-6734 (06)6572-8458	△			
株式会社むらせ	代表取締役 村 瀬 賢 正	103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2丁目4番3号	(03)3249-2671	(03)3249-2676	△			
株式会社明治フードマテリア	代表取締役社長 姫 野 真 司 大阪支店長 今 泉 俊 英	104-0031 東京都中央区京橋2丁目 4番16号 明治製菓ビル3F 大阪支店 530-0001 大阪市北区梅田1丁目8番17号 大阪第一生命ビル4F	(03)3273-0360 (06)6343-9120	(03)3273-0290 (06)6343-9122				△
株式会社山三商会	代表取締役 横 井 喬	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号	(06)6533-0252	(06)6533-1566	△			
株式会社ヤマタネ	代表取締役社長 山 崎 元 裕	135-8501 東京都江東区越中島 1丁目2番21号 ヤマタネビル	(03)3820-1111	(03)3820-9277	△			
リヨーコクシヨウジ株式会社	代表取締役社長 佐 々 木 優 輔	733-0833 広島市西区商工センター 5丁目7番5号	(082)277-6455	(082)278-0381	△			

一 般 会 員 General Members	代 表 者 Representative 本所に対する代表者 Representative for ODE	所 在 地 Address	T E L	F A X	市 場 Market			
					農 産 物	指 数	水 産 物	砂 糖
株式会社新和流通	代表取締役 鶴山 益 济	550-0013 大阪市西区新町1丁目 22番22号-406号	(06)6539-6987	(06)6539-6989			△	
有限会社大松水産	代表取締役 松本 陽 一	596-0015 大阪府岸和田市地蔵浜町 11番地1	(0724)39-2118				△	
日本ポート産業株式会社	代表取締役社長 平松 直 典	658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町 16番地	営業部 (078)412-5541	(078)451-8366			△	
株式会社 松 岡	代表取締役 松岡 隆 雄	750-8512 山口県下関市東大和町 1丁目10番12号	(083)267-5566	(083)267-5286			△	
マリンフーズ株式会社	代表取締役 養内 眞 三	141-6011 東京都品川区大崎2丁目 1番1号 ThinkPark Tower	(03)3452-8920	(03)3452-8746			△	

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目10番14号

大阪堂島商品取引所

電話 06 (6531) 7931 (総務部) 代表
7932 (業務部)

東京支所

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15番15号
電話 03 (4334) 2185 (営業企画部)